

ひろばポラリス

(山元町障害者地域活動支援センター指定事業)

事業の目的

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下「障害者総合支援法」という。）第4条第1項及び第2項に規定する障害者等（以下、「障害者等」という。）が、地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう支援することを目的とする。

事業の目標

- ◎利用者の特性をふまえて、日々の生活が心豊かになるような活動の場を提供する
- ◎同じような生きづらさを抱えている利用者同士がピアサポートできるような場を提供する
- ◎地域の様々な立場の人と交流できる機会を提供する
- ◎自己肯定感や自己有用感を向上できるような経験を重ねられるような場をつくる
- ◎余暇を有意義に過ごせる場を提供する



フリースペース

地域の中で

- ・ゆったりする
- ・おしゃべりする
- ・活動する

居場所づくり

参加支援



障害者をつくる地域づくりのプラットフォーム 「ひろばポラリス」

2023年1月～2023年12月

ファイザープログラム

「ひろばポラリス」での、アート×学び×居場所（ひろば）づくりを障害者と協同実践する。この活動のプロセスを経て、世代や分野を超えて繋がり、支え手と受け手と言う関係を超えながら、障害者と地域のエンパワメントと、インクルーシブな地域づくりを目指すためのプラットフォームとして「ひろばポラリス」活動を整備していく。

「アートと本のあるひろば」づくり

（協力）森の小さな古本屋スローバックス

- アート作品の展示（毎月：全12回）
 - ・月毎に障害者が自分の制作したアート作品を展示する。
- 文庫コーナーづくり（期間中4回）
 - ・文庫の定期的入れ替え・レイアウトなどに取り組む。



「みんなの学びのひろば」（全12回）

- 読書会「生き方」をテーマにした全4回
講師：スローバックス店長 佐藤浩昭さん
- ケアする人のケア（心身の健康講座）全4回
講師：NPO法人虹色たんぽぽ（コミュニティナース）
- アートワークショップ：全4回
講師：今野裕結さん・しょうじこずえさん



当団体が障害者支援で培ってきたノウハウをもとに、障害者や生きづらさを抱えている人たちも主体的に誰かにつながり支え合える機会や場づくりに参加する経験を積む機会の提供と、全ての人の対話と学びの場づくりの環境整備を進め、宮城県山元町の人や資源を生かしインクルーシブで持続可能な地域づくりを進めていきたいと考える。まずは民間団体の応援を受けながら実践を重ね、ゆくゆくは町の重層的支援体制整備事業に参画していきたい。

※「重層的支援体制整備事業」

国が進めている「重層的支援体制整備事業」は、市町村において、地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を整備するため、①相談支援（属性を問わない相談支援、多機関協働による支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援）、②参加支援、③地域づくりに向けた支援を一体的に実施するものである。